

第 1 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 6 年 4 月 23 日(火)PM7:00～PM8:40
場 所 新城市役所 4 階 会議室
出席者 委員 27 名 事務局 4 名

次第

- 1 あいさつ
- 2 委嘱辞令交付式
- 3 議事
 - (1) 地域協議会推進体制について
 - (2) 地域協議会年間開催スケジュールについて
- 4 連絡事項
 - (1) 令和 6 年度地域自治区予算事業について
 - (2) 令和 6 年度地域活動交付金について
 - (3) 委員報酬・交通費の支払いについて

1 あいさつ

- ・職員あいさつ
- ・委員自己紹介

2 委嘱辞令交付式

- ・8名の委員に委嘱辞令を交付した。

3 議事

協議会の会議録署名

会議録の署名人については、会長及びその他委員 2 名の合計 3 名とし、その他委員は委員名簿の上から順に 2 名ずつ行っていくことを決定した。

(1) 地域協議会推進体制について

(事務局説明)

- ・昨年度の地域協議会からの引き継ぎ事項
- ・令和 6 年度地域協議会推進体制

(主な意見)

委 員 地域計画の冊子は委員全員持っているのか。

会 長 新規委員は前任委員から引き継がれていると思うので、一読しておいてください。無くされた方がいれば事務局に申し出ていただきたい。

委 員 令和 7 年度に長篠・設楽原の戦いが 450 周年を迎える。行政の方でも取り組んでいくという意向を市長からも聞いている。大河ドラマのどうする家康の

際に、一昨年地域協議会で予算をとり事業を提案出来なかったという経験がある。その二の舞にならないように、どこかのチームで取り上げていただきたい。

会 長 6つ目の柱を作るべきか、既存の柱で取り組むべきか、意見があれば言っていたらいい。

委 員 東郷側で何ができるのか、鳳来中部側で何ができるのか、また、歴史に関するいくつかの団体もあるので、設楽原歴史資料館の館長を筆頭に私たちに何が出来るのかを考えていくことになると思う。やるのであれば学ぼうが中心となって進めていくのが良いと思う。

会 長 新たな柱を作ると各柱ごとの人数が少なくなってしまうので、出来れば学ぼうの柱で取り組んでいただきたい。

結 果

- ・令和6年度地域協議会推進体制が原案のとおり決定された。
- ・副会長の人数は、昨年度に引き続き2人となり、優先順位については、順位1に今泉副会長、順位2に渡邊副会長となった。また、今泉副会長が地域活動交付金分科会長を兼務することが決定された。
- ・地域計画の5つの柱の委員編成が以下のとおり決定された。
- ・令和7年度に450周年を迎える、長篠・設楽原の戦いについては、学ぼうの柱が中心となり検討していくこととなった。

◎リーダー

令和6年度 東郷地域協議会				
(1)暮らそう	(2)守ろう	(3)育てよう	(4)学ぼう	(5)楽しもう
◎國本 由美	◎後藤 能成	◎星 洋輔	◎長屋 靖子	◎加藤 稜唯
滝川 宏昭	原田 邦義	滝川 英彦	原 順弘	今泉 和巳
夏目 菊治郎	竹内 政勝	伊藤 敬	原田 学	夏目 茂隆
牧野 哲也	滝川 肇	稲垣 孝治	鈴木 英和	夏目 有希
牧野 知世枝	今泉 真理子	戸田 由信	小椋 克好	太田 愛美
		渡邊 竜夫	篠宮 雅典	山本 見奈子
計 5 人	計 5 人	計 6 人	計 6 人	計 6 人

柱ごとグループに分かれて話し合いを行った。以下発表要旨。

【暮らそう】

- ・地域交流サロンの立ち上げサポート事業として、昨年度の暮らそうのメンバーを中心に東郷わくわくコミュニティという地域活動交付金団体を立ち上げた。事業が上手くいくように1年間検討していきたい。
- ・高齢化が進んでいるので、助け合い精神の仕組みであるお手伝いチケット制度のような仕組みを検討していきたい。

【守ろう】

- ・守ろうとは何を守ろうということなのかと考えていたが、資料には、子どものヘルメットをどうしようかという、これがテーマになっている。普通に考えたら、子どものヘルメットをどうするか、もちろん親御さんにアンケートをとるのは当たり前かもしれないが、まずは学校が関与しなくてはならないと思う。先ほど聞いた中、学校は門から外は関与しないというような対応らしい。では市の方として教育委員会はどうか、これも姿勢が曖昧なようです。その中でヘルメットをどうしていいかということ、継続課題としてやっていくことになると思う。
- ・東郷地域計画を見ると、例えば防災に関して、守るという意味では、災害から地域を守っていくということも一番大きなテーマだと思うが、そういう観点が欠如していると思われる。皆さんご存じのように、1月の能登半島地震、それから台湾での地震、四国でも地震など、本当に去年一昨年くらいから震度4以上の地震が頻発している。その中で、この地域にそういった大きな地震が来ないとは限らない。南海トラフ地震は、確実に発生すると言われている。それに対し、地域自治区として何をしていくのか、どう考えていくのか。少なくともヘルメットの問題よりは、色々と協議する価値のあることではないかという気がする。地域協議会として、予算はトータルで1,500万円ある。これを有効に使う義務や責任がある。各柱ごとの施策があると思うが、例えば、今年度、或いは来年度、再来年度の3ヵ年くらいで、東郷地域を災害から強い地域にしようという共通の目標を持ち、予算を使っていくことが必要なのではないか、ということはこのチームで話していた。論点が違うと言われるかもしれないけれども、お金や予算を預かるということは、そのくらいの責任を持たされていることだと考えているので、その辺も今年1年考えていきたい。

【育てよう】

- ・昨年度からの引き継ぎで、耕作放棄地についての意見が多かったので、今年度も色々と考えていきたい。東郷地域でどれだけの休耕地があって、どれだけの人が困っているのかいないのか、活用したいのかしたくないのか、その辺を一度調査したいと思っている。それが可能なのかもまだ探り探りだが、そういうところもやっていきたい。
- ・先週の土曜日に、キャッサバ栽培セミナーがあった。休耕地でも育てやすく獣害もない、肥料も農薬もいらない、連作も出来るという面白そうな作物だったので、休耕地を考える会のメンバーで合計100本くらい苗を予約した。まずは手始めにそれを育ててみて、栃木から来られた先生のお話だと、1反当たり70~90万円くらいの収益になるらしい。田んぼやるよりも全然良くて、ただ日本の主食は米だと言われたらそれまでだが。一旦そのキャッサバを育ててみて、いけるのではないかなれば、東郷地域全体として、キャッサバのまちみたいになるのかどうか、今年度一年間やってみたいと考えている。

【学ぼう】

- ・長篠設楽原の戦いから450周年に関しては、市で実施する予定のイベントのフォローをしていく。市ではなかなか出来ない部分を地域として助けていけたら良い。設楽原歴史資料館の求めるところの範疇内で検討していきたい。
- ・長篠設楽原の歴史検定の実施と問題集の作成に並行して、実行団体である足軽隊の委員募集についても検討していきたい。

【楽しもう】

・昨年度からの引き継ぎ事項を踏まえ、必要などころに必要な予算をしっかりとつけていくということでやらせていただきたい。引き継ぎの中にあつた、イベント推進というところで、楽しもうだけではないと話の中で出たので、他のチームと必要な協議、また予算づけに対しての調整を行うことが今年には必要になってくると思うので、会議の最後に意見交換が毎回あるので、ぜひ他のチームリーダーの皆さんからも、こういう事業はどうだ、こういうのを予算付けしてみてもどうだという提案をいただければありがたい。

(3) 地域協議会年間開催スケジュールについて

(事務局説明)

・地域協議会及び分科会の活動内容と年間スケジュールについて

結 果

・地域協議会

第2回 5月21日(火)19:00～

第3回 6月18日(火)19:00～

第4回 7月23日(火)19:00～

第5回 8月20日(火)19:00～

第6回 9月10日(火)19:00～

※10月15日(火)19:00～ →(予備日)事業計画変更検討の必要が生じた場合開催

第7回 10月22日(火)19:00～ 市長建議 ※終了後市長との意見交換会有り。

第8回 11月12日(火)19:00～

第9回 12月10日(火)19:00～

第10回 1月28日(火)19:00～

第11回 2月25日(火)19:00～

・地域活動交付金分科会

第1回 2月4日(火)19:00～

第2回 2月22日(土)午後～ (審査会、申請団体の数により終了時刻変動)

以上の日程に決定した。

4 連絡事項

(1) 令和6年度地域自治区予算事業について

(2) 令和6年度地域活動交付金について

(3) 委員報酬・交通費の支払いについて

【20:40 終了】